

Accuphase

# STEREO PHONO AMPLIFIER

ステレオ・フォノ・アンプ

## C-37

### 取扱説明書



ご使用の前に、この「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読み  
のうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、お客様カードと引きか  
えにお届けいたします「品質保証書」と一緒に大切に保存してください。

このたびはアキュフェーズ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

最高峰のオーディオ・コンポーネントを目指して完成されたアキュフェーズ製品は、個々のパーツの選択から製造工程、最終の出荷にいたるまで厳重なチェックを行い、その過程と結果の個々の履歴は、製品全体の品質保証に活かされています。このような品質管理から生まれた本機は、必ずやご満足いただけるものと思います。

末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## 5年間の品質保証と保証書

C-37の品質保証は5年間です。付属の「お客様カード（保証書発行はがき）」に必要事項を記入の上、必ず（なるべく10日以内に）ご返送ください。「お客様カード」と引きかえに「品質保証書」をお届けいたします。

\*「お客様カード」のご返送や「品質保証書」の発行について、詳しくは17ページをご参照ください。

\*「品質保証書」はサービスサポート時に必要となります。保証書がない場合は、全て有償修理となりますので、保証登録を行っていただき、届きました保証書を大切に保管してください。

製品に関するお問い合わせや異常が認められるときは、お求めの当社製品取扱店または当社品質保証部へ、直ちにご連絡ください。

尚、保証は日本国内のみ適用されます。

The Accuphase warranty is valid only in Japan.



## マークについて

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人身事故の発生する可能性や製品に重大な損害を生じる恐れがあることを示しています。お客様への危害や、機器の損害を防止するため、表示の意味をご理解いただき、本製品を安全に正しくご使用ください。



## 警告

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、その危険を避けるための事項が示してあります。



## 注意

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が軽度の傷害を負う可能性や製品に損害を生じる恐れがあり、その危険を避ける為の事項が示してあります。

## 付属品をご確認ください

- 取扱説明書(本書) ..... 1冊
- 安全上のご注意 ..... 1冊
- お客様情報の取扱いについて ..... 1枚
- 注意書(『モノ・カートリッジ』接続時のご注意) … 1枚
- お客様カード(保証書発行はがき) ..... 1枚
- 目隠しシール..... 1枚
- プラグ付きオーディオ・ケーブル(1m) (ASL-10) … 1組
- AC電源コード(2m) (APL-1)..... 1本
- クリーニング・クロス..... 1枚

## 目 次

付属品をご確認ください	表紙裏頁
<b>1. 安全上必ずお守りください</b>	<b>2</b>
△警告	2
△注意、使用上のご注意	3
「モノ・カートリッジ」接続時のご注意	3
設置と接続の注意、お手入れ	3
<b>2. 各部の名前</b>	<b>4,5</b>
フロントパネル	4
リアパネル	5
<b>3. 各部の動作説明</b>	<b>6～9</b>
<b>4. ご使用方法</b>	<b>10～11</b>
<b>5. 接続図</b>	<b>12</b>
<b>6. 保証特性</b>	<b>13</b>
<b>7. 特性グラフ</b>	<b>14</b>
<b>8. ブロック・ダイアグラム</b>	<b>15</b>
<b>9. 故障かな?と思われるときは</b>	<b>16</b>
<b>10. アフターサービスについて</b>	<b>17</b>

安全上必ず  
お守りください

各部の名前

各部の  
動作説明

ご使用方法

接  
続  
図

保証特性

特性グラフ

ブロック・  
ダイアグラム故障かな?と  
思われるときはアフターサービス  
について

# 1. 安全上必ずお守りください

ご使用の前にこの『取扱説明書』と別冊の『安全上のご注意』を良くお読みの上、製品を安全にお使いください。



## ■電源は必ずAC(交流)100V、50Hz/60Hzを使用する。

- AC100V(50Hz/60Hz)以外で使用すると、感電や火災の原因となります。

## ■電源コードは取り扱いを誤ると、感電や火災の原因となり危険です。

- 付属または当社指定の電源コード以外は絶対に使用しない。
- ぬれた手で電源プラグを絶対に触らない。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、本機の下敷きにしなない。
- 電源コードが傷んだら、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。

## ■密閉されたラック等には絶対に設置しない。

- 通風が悪いと機器の温度が上り、火災や故障の原因となります。

## ■放熱のため製品の周辺は他の機器や壁等から充分間隔(10cm以上)をとる。

## ■機器の上に水などの入った容器(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)、新聞紙、テーブルクロスなどを置かない。

## ■火災又は感電を防止するために、雨がかかる場所又は湿気の多い場所では絶対使用しない。

## ■トップ・プレート(天板)やボトム・プレート(底板)は絶対にはずさない。

- 内部に手などで触れると感電や故障の原因となり、大変危険です。

## ■脚の交換は危険ですから行わない。

- 取り付けネジが内部の部品に触れると、火災や感電、故障の原因になります。

## ■次の場合には本体の電源スイッチを切り、必ず電源コードをコンセントから抜く。安全を確認後、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。

- 製品に水や薬品などの液体がかかった場合。
- 内部に異物(燃えやすい物やヘアピン、釘、硬貨など)が入った場合。
- 故障や異常(発煙やにおいなど)と思われる場合。
- 落としたり、破損した場合。

\*上記の各項目に対して、電源スイッチをOFFにしただけでは、本機への電源供給が完全に遮断されません。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

\*万一の場合、電源コードをコンセントから容易に外せるように、コードの引き回しやコンセント周りの環境を整えてください。

## ■入・出力端子や、AC電源コネクタ、電源プラグには接点復活剤や導電剤などは絶対に使用しない。

樹脂部が経年劣化で破損したり端子部がショートをおこし、感電や火災あるいは故障の原因になります。

(接点復活剤、導電剤使用による不具合は保証外となります。)

## 注意

### ■ 設置場所について

次のような場所への設置はさけてください。

- 通風が悪く、湿気やほこりの多い場所
- 直射日光の当たるところ
- 暖房器具の近く
- 極端に温度の低い場所
- 振動や傾斜のある不安定な場所

### ■ 他の機器と直接重ねて使用しない。

### ■ 長期間使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜く。

### ■ 電源スイッチのOFF直後(10秒以内)に再びONしない。

ノイズ発生などの原因となることがあります。

### ■ 入・出力コードを接続する場合は、必ず各機器の電源を切る。

特に、RCAタイプのピンプラグをジャックから抜き差しするときは、一瞬グラウンド側が浮いた状態になるため、大きなショック・ノイズを発生し、スピーカーを破損する原因となります。

### ■ バランス用とライン用ケーブルは、同一機種同士で接続して使用しない。アースがループになって、ノイズを発生させる原因となります。

### ■ レコード・プレーヤーを操作するときは、必ずプリアンプのボリュームを下げる。

特に、トーンアームからカートリッジを外したり、取り替える時、また演奏時にカートリッジを上げ下げする時は、必ずプリアンプのボリュームを下げてください。ボリュームが上がっているとショックノイズでスピーカーを破損する原因となります。

## 使用上のご注意

各機能のスイッチやボタンを切り替えると、ノイズ防止のため、約1秒間ミュート回路が作動して音が途切れます。

## 『モノ・カートリッジ』接続時の注意

C-37で『モノ・カートリッジ』(モノフォニック出力型)を接続したとき、カートリッジの種類(タイプ)とアンプの接続によっては不具合を生じる場合があります。詳細については付属の説明書『モノ・カートリッジ接続時のご注意』をお読みの上、使用前に必ず弊社品質保証部までお問い合わせください。

## 設置と接続の注意

■ アナログ・プレーヤー、トーンアーム、カートリッジなどの取付・設置・接続と使用方法は、それぞれの製品の取扱説明書を参照してください。

■ 本機は微弱な信号を扱います。パワー・アンプなど他の機器と近接して設置すると、誘導を受けてハム音(ブーンという音)を発生する場合があります。このような時は、アナログ・プレーヤーや本機の設置場所を変えて、誘導雑音がなくなる所を選択してください。

■ アナログ・プレーヤーの出力ケーブルとアース線はバラバラにならないように、束ねたり、撚り合わせるようにして本機に接続してください。また、本機や他の機器の電源コードとはなるべく離してください。

## お手入れ

● お手入れの場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 本体のお手入れは、柔らかい布を使用してください。固く絞った布で水拭きし、その後乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー、油、ワックス等を使用すると、表面を変色させたり、傷つけたりしますので使わないでください。

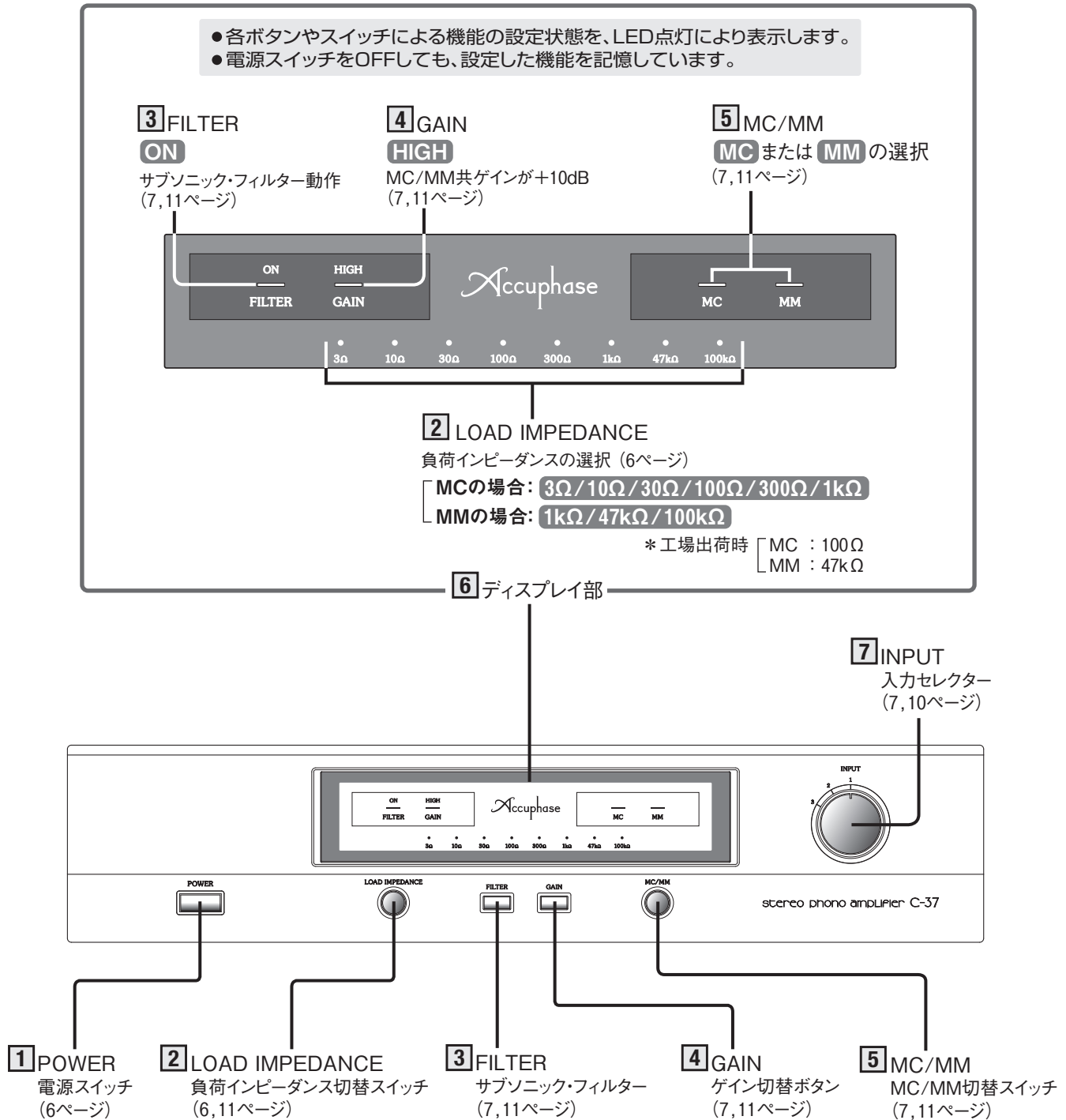
● サイドウッドパネルの場合、ホコリやゴミ、指紋等汚れの拭き取りには付属のクロスを使用してください。表面を傷つけることなく、きれいに拭き取ることができます。

● また付属のクロスは、洗濯して繰り返し使用できます。洗剤で洗濯後は、よく水洗いし乾いた状態でご使用ください。

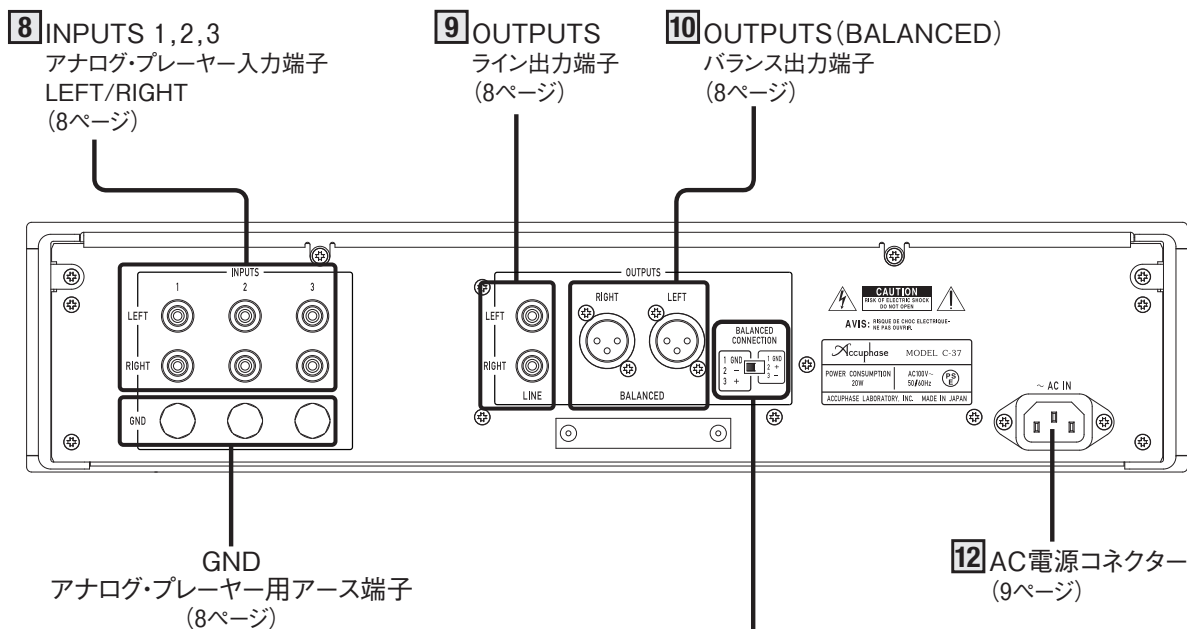
## 2. 各部の名前

詳しい説明は、各項目( )内のページを参照してください。

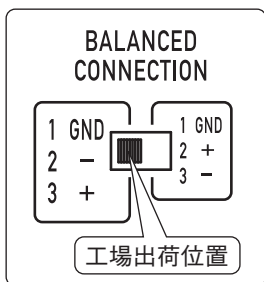
### フロントパネル(前面)



リアパネル(後面)



**11** BALANCED CONNECTION  
バランス出力端子の極性切替スイッチ  
(8ページ)

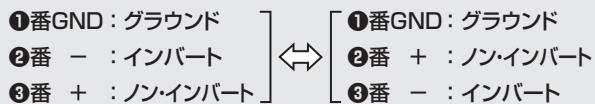


**10** バランス出力端子の極性

- 工場出荷時のスイッチ位置は、図のように向って左《**3**番+ : ノン・インバート》側です。
- アクユフェーズ製品(一部プロ機器は除く)のバランス入・出力端子は、全て《**3**番+ : ノン・インバート》です。

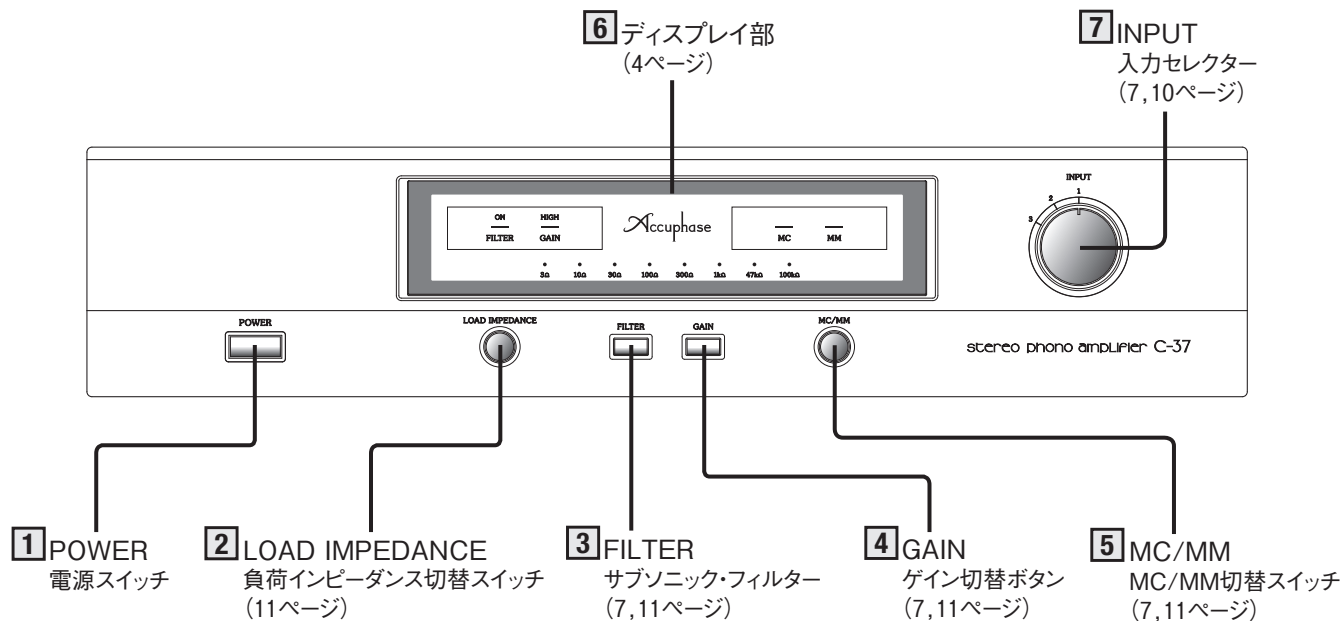
接続するプリアンプやプリメインアンプのバランス入力端子が、《**2**番+ : ノン・インバート》の場合のみ、スイッチを切り替えてください。

スイッチを切り替えると、バランス出力端子**2**番と**3**番の極性は、次のように変わります。



## 3. 各部の動作説明

### フロントパネル(前面)

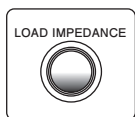


#### 1 POWER — 電源スイッチ

押すと電源が入り、再び押すと切れます。電源を入れてから回路が安定するまで約3秒間は、ミュート回路が作動しますので出力はありません。

- \* 電源スイッチをOFFしても、直前の設定ポジションを記憶しています。
- \* 電源スイッチのOFF直後(10秒以内)に再びONしない。ノイズ発生などの原因となることがあります。

#### 2 LOAD IMPEDANCE — 負荷インピーダンス切替スイッチ



MC/MMカートリッジの負荷インピーダンス(イコライザーアンプの入力インピーダンス)を切り替えます。選択されたインピーダンスのLEDが点灯します。

5 MC/MM切替スイッチによって、選択できる負荷インピーダンスの切り替え範囲が変わります。

##### ■MCを選択している場合

3Ω、10Ω、30Ω、100Ω、300Ω、1kΩ

##### ■MMを選択している場合

1kΩ、47kΩ、100kΩ

- カートリッジ推奨の負荷インピーダンスが表示してあれば、それに近いインピーダンスを選択しますが、実際に試聴し、好みの音質が得られるインピーダンスを決定してください。
- MCカートリッジの場合は、内部インピーダンスの2~3倍以上を目安にします。カートリッジに表示されている内部インピーダンス以下の値にしますと、振動系がオーバーダンピング(過制動)になってしまい、低域不足で中高域が細く、硬質な音になる場合があります。
- MMカートリッジの場合は、一般的にハイインピーダンス負荷にします。
  - \* 負荷インピーダンスを変えると、音量が急に大きくなる場合がありますのでご注意ください。
- 入力端子毎にLOAD IMPEDANCEを記憶することができます。  
7 参照。

#### メモ

このスイッチは、5 MC/MM切替スイッチの各ポジションに応じて記憶できるように、ロータリー・エンコーダー・スイッチ(指標がないノブ)を使用しています。

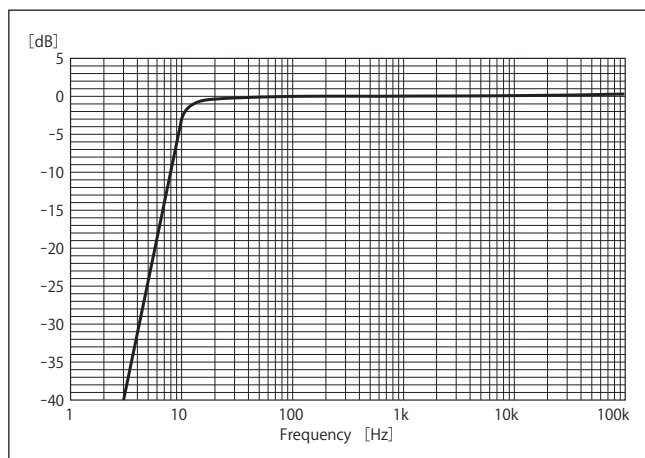


### 3 FILTER — サブソニック・フィルターON/OFFボタン



- 押して「ON」 : 『FILTER』 LED点灯
- 再び押して「OFF」 : 『FILTER』 LED消灯

FILTERボタンは、可聴帯域外の超低域10Hz以下を12dB/octaveという急峻な特性でカットし、超低域ノイズが可聴帯域内へ悪影響をおよぼすことを防ぎます。特に、レコードに大きな反りがあったり、超低域の振動によりウーファーがゆれたりするときに大変有効です。



サブソニック・フィルター特性

- 入力端子毎にFILTERの設定を記憶することができます。  
7参照。

### 4 GAIN — ゲイン切替ボタン



- 押してゲイン「HIGH」 : 『GAIN』 LED点灯
- 再び押して「ノーマル」 : 『GAIN』 LED消灯

イコライザー・アンプのゲイン(増幅度)を切り替えることができます。

出力電圧が低いカートリッジや負荷インピーダンスを低くしたとき、また実際に試聴して音量不足を感じる時には、『HIGH』ポジションにすると有効です。『HIGH』にすると、MC/MM共ゲインがそれぞれ10dB上がります。

	ノーマル	HIGH
MC	60dB ⇔	70dB
MM	30dB ⇔	40dB

- 入力端子毎にGAINの設定を記憶することができます。  
7参照。

### 5 MC/MM — MC/MM切替スイッチ



使用するカートリッジに応じて、MCまたはMMを選択し、LEDの点灯で表示します。

#### MC (Moving Coil)

出力電圧が低いMC(ムービング・コイル)型カートリッジを使用するときのポジションです。

#### MM (Moving Magnet)

高出力電圧のMM(ムービング・マグネット)型カートリッジを使用するときのポジションです。

- 入力端子毎にMC/MMの設定を記憶することができます。  
7参照。

#### メモ

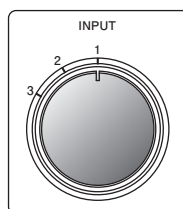
7入力セレクターの各ポジションに応じて設定が記憶できるように、ロータリー・エンコーダー・スイッチ(指標がないノブ)を使用しています。

### 6 ディスプレイ部

\*詳細図は4ページ参照

各スイッチやボタンの動作ポジションなどを、ディスプレイ部のLED点灯/消灯により表示します。

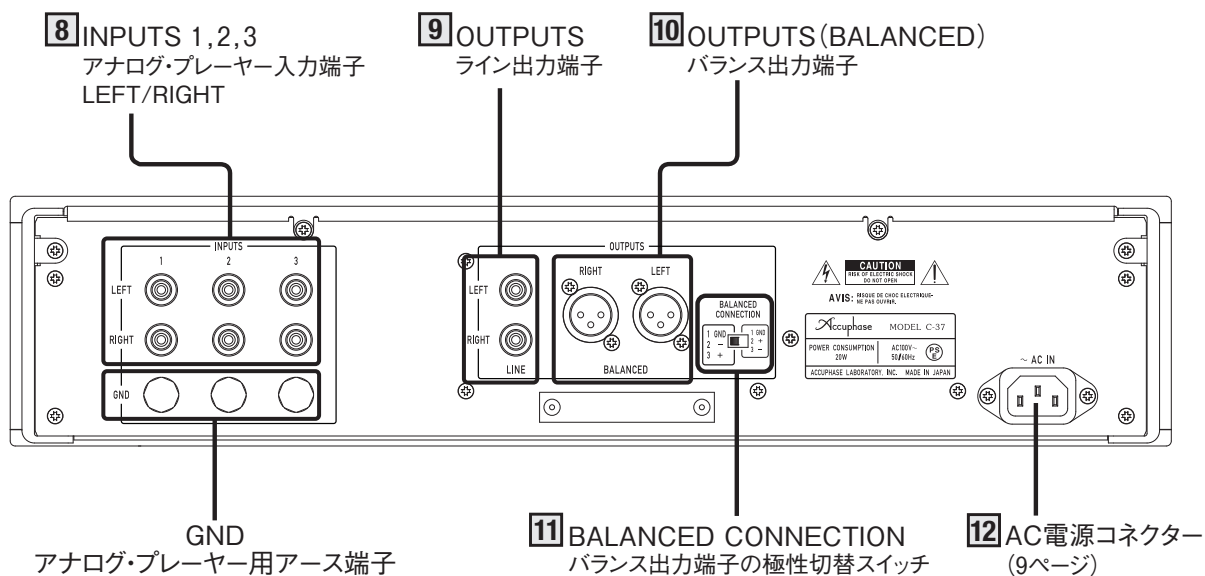
### 7 INPUT — 入力セレクター



リアパネル側 8 INPUTS《1, 2, 3》端子に接続したアナログ・プレーヤーまたはトーン・アームを選択します。

入力端子毎に、2 LOAD IMPEDANCE 3 FILTER 4 GAIN 5 MC/MM、各機能の設定をそのまま記憶することができます。

リアパネル(後面)



**8** INPUT 1,2,3 — アナログ・プレーヤー入力端子

**LEFT, RIGHT**

アナログ・プレーヤーの出力ケーブルを、LEFT (左)、RIGHT (右)正しく接続してください。

**GND — アース端子**

アナログ・プレーヤーの出力ケーブルと一緒に出てくるアース線を接続してください。このアース端子には、アナログ・プレーヤーのアース線以外は接続しないでください。

\*アナログ・プレーヤーの接続図は12ページ参照。

**9** OUTPUTS — ライン出力端子

通常のピンプラグ付オーディオケーブルで、プリアンプの入力端子と接続します。

\*接続図は12ページ参照。

**10** OUTPUTS (BALANCED) — バランス出力端子

外来誘導雑音の排除能力に優れた、バランス伝送用出力端子です。プリアンプが、バランス入力コネクターを装備している場合には、良質なオーディオ信号の伝送が可能です。

- ピンの極性は、**11**『バランス出力端子の極性切替スイッチ』で切り替えることができます。  
(詳細は5ページ参照)
- バランス用オーディオケーブルは当社で別売しています。

**11** BALANCED CONNECTION — バランス出力端子の極性切替スイッチ

バランスでプリアンプやプリメインアンプに接続する場合、プリアンプやプリメインアンプ側の入力端子と2番/3番の極性が同じになるように、**10**バランス出力端子の極性を切り替えるスイッチです。

(詳細は5, 10ページ参照)

## 12 AC電源コネクター

付属の電源コードを接続します。



電源は必ずAC100V家庭用コンセントを使用する。

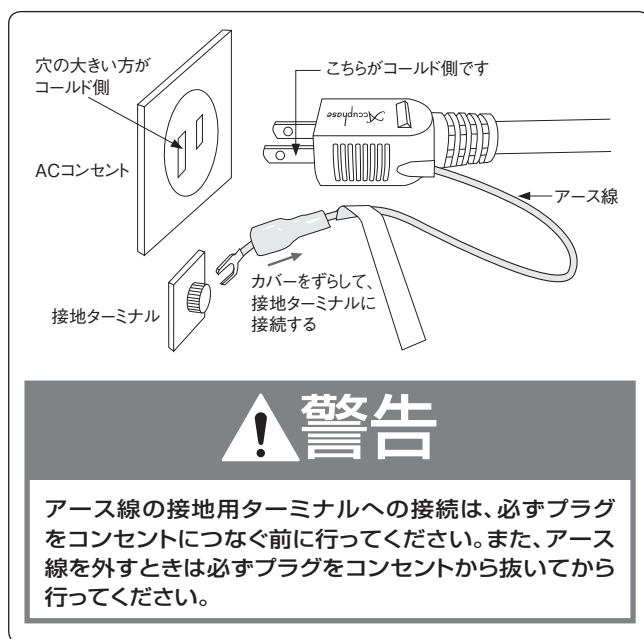
### ■電源コードに付いているアース線の接続

付属の電源コードには、プラグ側に接地用アース線が付いています。感電防止のため、このアース線を接地用ターミナルに接続すると、より一層安全になります。

接地ターミナルの工事は、電気工事店にご相談ください。

### ■入・出力端子や、AC電源コネクタ、電源プラグには接点復活剤や導電剤などは絶対に使用しない。

樹脂部が経年劣化で破損したり端子部がショートをおこし、感電や火災あるいは故障の原因になる事があります。(接点復活剤、導電剤使用による不具合は保証外となります。)



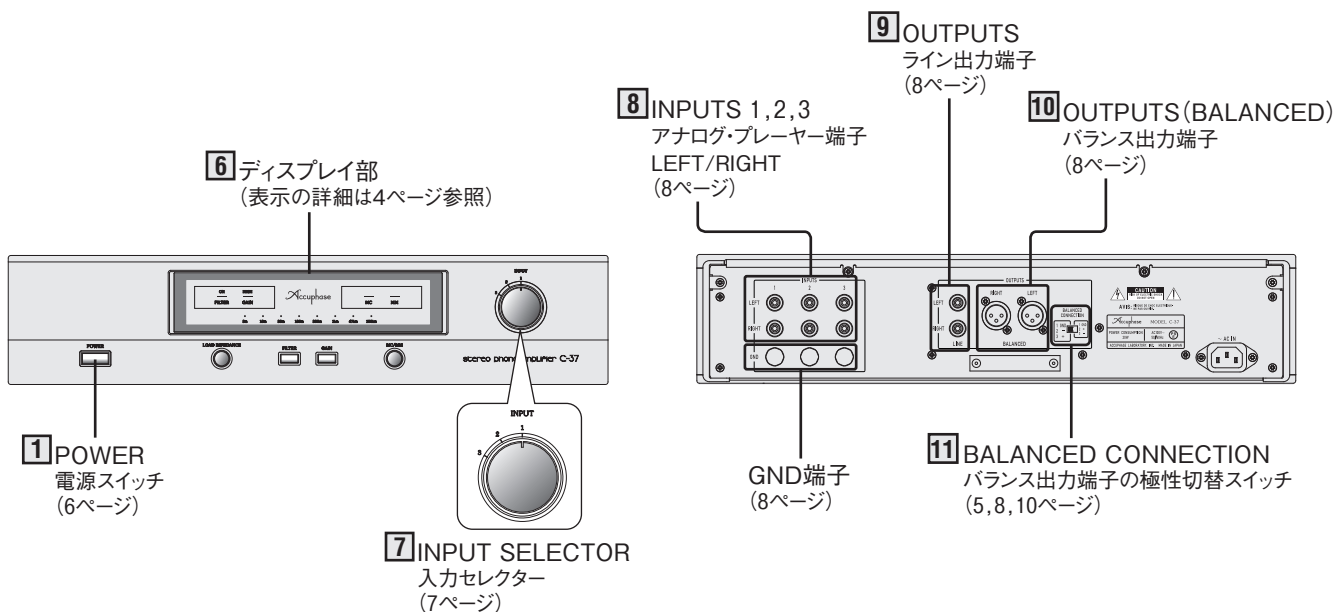
### ■電源コードの極性表示

本機は、トランスの巻き方向、部品の配線など極性を管理して、電源プラグのアース線が出ている方がコールド側になっています。機器の接続を統一したい場合は参考にしてください。

### ◆注意

- 室内コンセントの極性は一般に、向かって左側(穴が右に比べて大きい)がコールド側です。
- 大地に対する電位は屋内配線の状況によって変化します。このためチェッカーなどを使用して測定した場合、電位が逆表示することがあります。

## 4. ご使用方法



- \* 選択した各機能のポジションは、**6**ディスプレイ部のLED点灯により表示します。
- \* 各機能の詳しい説明は、6~9ページを参照してください。
- \* アナログ・プレーヤー(トーンアーム、カートリッジ等)やプリアンプなど操作の詳細は、それぞれの取扱説明書を参照してください。
- \* 演奏終了後、本機の電源スイッチをOFFにしても設定した各機能を記憶しています。

**1** プリアンプやプリメインアンプのボリュームを下げます。

**2** 本機や接続機器の電源スイッチをOFFにします。

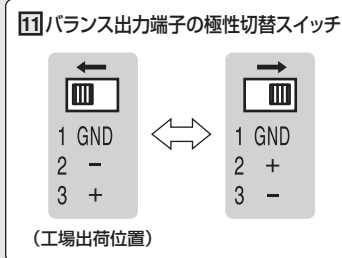
**3** アナログ・プレーヤーの出力ケーブルを本機に接続して、本機の出力はプリアンプまたはプリメインアンプに接続します。(接続図は12ページ参照)

■プレーヤーのLEFT/RIGHT出力ケーブルとC-37の**8**INPUTS端子を正しくつなぎます。また、アース線はGND端子に接続します。

■本機の出力(**9**ライン端子または**10**バランス端子)は、プリアンプやプリメインアンプの《CD、LINE、AUX》などの入力端子に接続します。

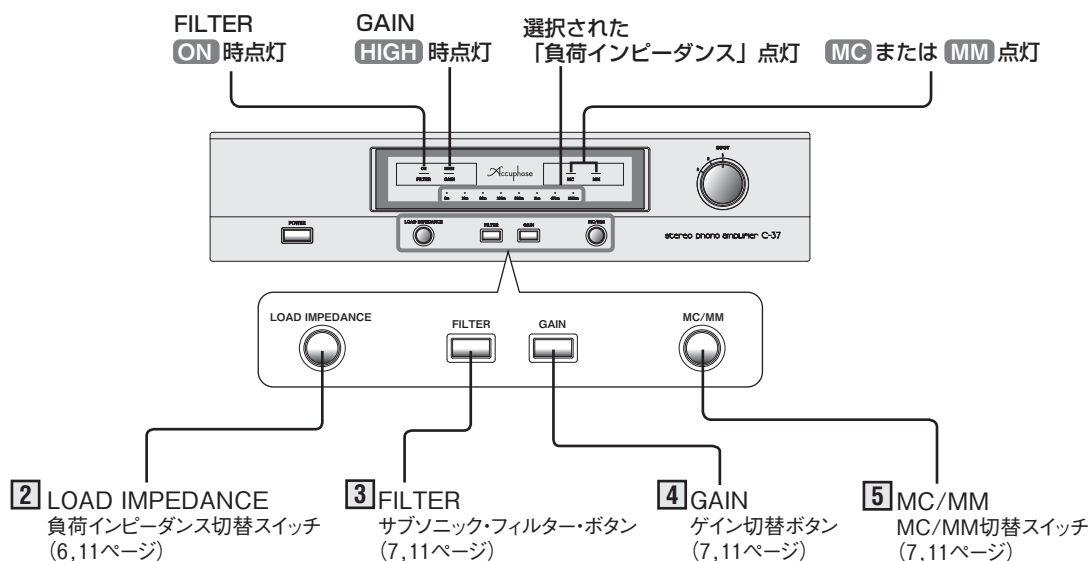
■アキュフェーズ製品以外とバランス接続する場合は、プリアンプ側のバランス入力端子の極性を確認してください。(5ページ参照)

- プリアンプ側が《**2**番+》の場合は、**11**「バランス出力端子の極性切替スイッチ」で切り替えてください。
- 工場出荷位置は《**3**番+》側です。

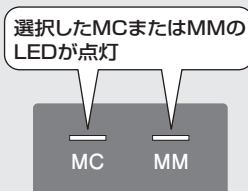


**4** 本機や接続機器の電源スイッチをONにします。

**5** **7**「INPUT」(入力セレクター)で、**8**INPUTS端子へ接続したアナログ・プレーヤー《1,2,3》を選択します。



- 6** [5]「MC/MM」切替スイッチで、接続したプレーヤーのトーンアームに付いているカートリッジ (MCまたはMM) を選択します。



- 7** [2]「LOAD IMPEDANCE」スイッチで、使用するカートリッジに応じて、希望する負荷インピーダンスを選択します。

《選択されたLEDが点灯します》



- 8** プレーヤーのターンテーブルにディスクを載せて回転をスタート、ディスク面にカートリッジ(針先)をゆっくり下ろします。プリアンプのボリュームを上げて、アナログ・ディスクを演奏します。

\*レコード・プレーヤーの操作方法は、プレーヤーの説明書に従ってください。

- お好みで、[2]「LOAD IMPEDANCE」を変えて試聴してください。

\*負荷インピーダンスを変えると、音量が急に大きくなる場合がありますのでご注意ください。

- プリアンプのボリュームを上げてても音量が不足と感じる場合には、[4]GAIN切替ボタンを押して+10dB (HIGH)ゲインを上げてください。



ゲインは  $\left[ \begin{array}{l} \text{MC : 60dB} \leftrightarrow 70\text{dB} \\ \text{MM : 30dB} \leftrightarrow 40\text{dB} \end{array} \right.$

- アナログ・ディスクの反りなどにより、超低域ノイズが問題になる場合は、[3]FILTERボタンを押してサブソニック・フィルターを入れてください。



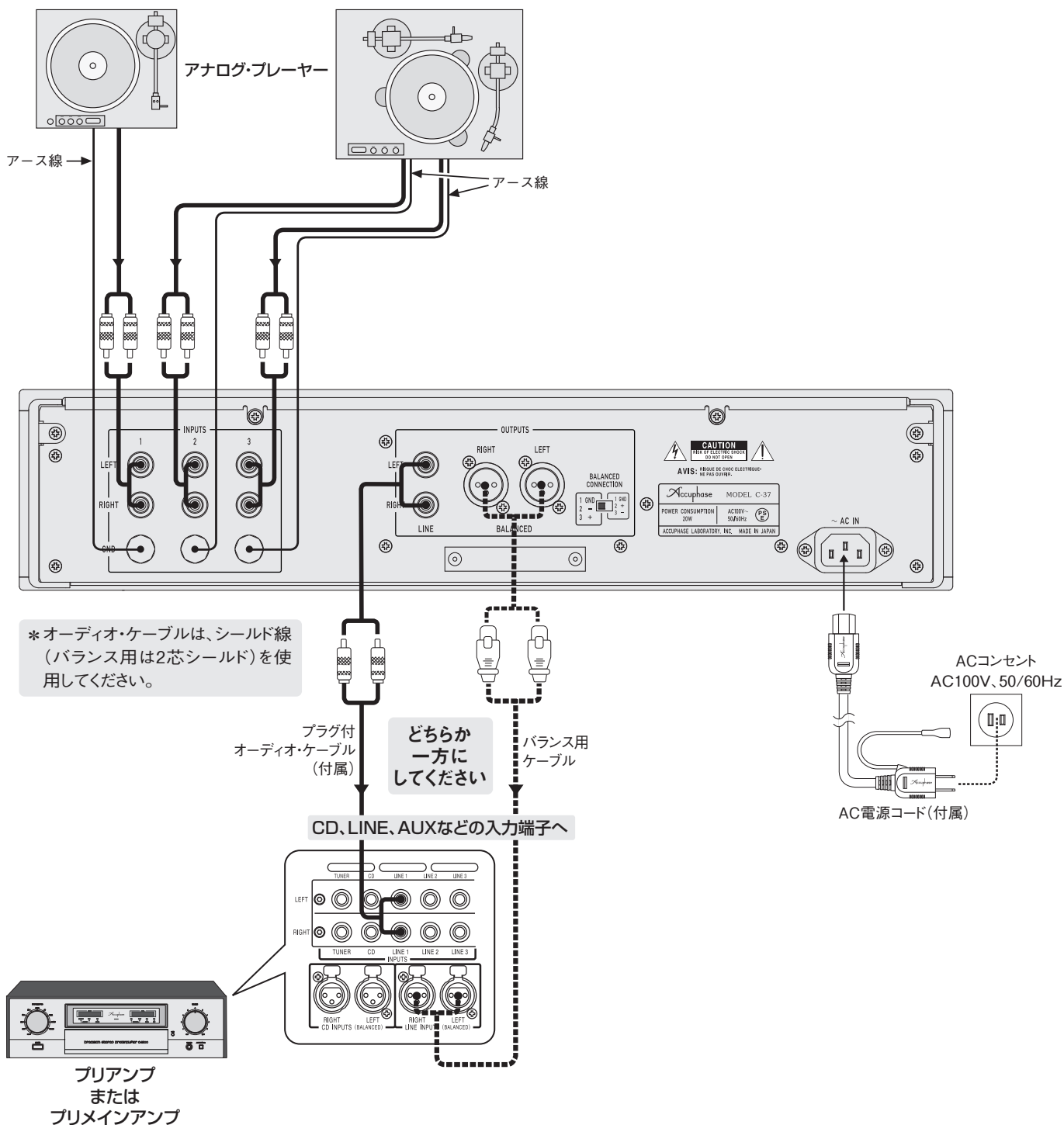
ON時 :  $-12\text{dB/octave}(10\text{Hz})$

# 5. 接続図

**!** **注意** : 接続するときは、必ず各機器の電源を切る。

- 注意**
- アナログ・プレーヤーの出力ケーブルは、LEFT(左)、RIGHT(右)を正しくつなぎ、プレーヤーからのアース線はGND端子に接続してください。
  - 本機の出力の接続は、オーディオケーブルを使用しLEFT(左)、RIGHT(右)を正しくつないでください。
  - 同一機器同士でバランス用とライン用の両ケーブルを同時に接続して使用しないでください。アースがループになって、ノイズを発生させる原因となります。

アナログ・ディスク演奏方法は10, 11ページ参照



## 6. 保証特性

【保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる】

### RIAA偏差

MC	10 ~ 20,000Hz	±0.3dB
MM	10 ~ 20,000Hz	±0.3dB

### 全高調波ひずみ率

0.005%

### ゲイン

\*INPUT → BALANCED/LINE OUTPUT

GAINボタンOFF(ノーマル)	MC時	60dB
	MM時	30dB
GAINボタンHIGH	MC時	70dB
	MM時	40dB

### 入力感度 (定格出力時: 1kHz, 2V)

MC	60dB時	2.0mV
	70dB時	0.63mV
MM	30dB時	63mV
	40dB時	20mV

### 最大入力電圧 (1kHz、ひずみ率0.005%)

MC	60dB時	9.0mV
	70dB時	2.9mV
MM	30dB時	300mV
	40dB時	95mV

### 最大出力レベル (ひずみ率 0.002% 20~20,000Hz)

BALANCED/LINE OUTPUT : 8.0V

### 入力インピーダンス

MC時切り替え	3Ω、10Ω、30Ω、100Ω、300Ω、1kΩ
MM時切り替え	1kΩ、47kΩ、100kΩ

### 定格出力・出力インピーダンス

BALANCED OUTPUT	2V	50Ω
LINE OUTPUT	2V	50Ω

### S/N・入力換算雑音

入力端子	入力ショート (A-補正)	
	定格出力時S/N	入力換算雑音
MC : 60dB	100dB	-154dBV
MC : 70dB	91dB	-155dBV
MM : 30dB	110dB	-134dBV
MM : 40dB	102dB	-136dBV

### 最小負荷インピーダンス

BALANCED/LINE OUTPUT : 10kΩ

### クロストーク

-90dB以上 (10kHz)

### 残留ノイズ(A-補正)

GAINボタンOFF(ノーマル)	MC時	19μV以下
	MM時	6μV以下
GAINボタンHIGH	MC時	59μV以下
	MM時	16μV以下

### サブソニック・フィルタ

-12dB/octave、10Hz

### 電源

AC100V 50/60Hz

### 消費電力

20W

### 最大外形寸法

幅465mm × 高さ114mm × 奥行407mm

### 質量

14.5kg

### ●本機は「JIS C-61000-3-2 適合品」です。

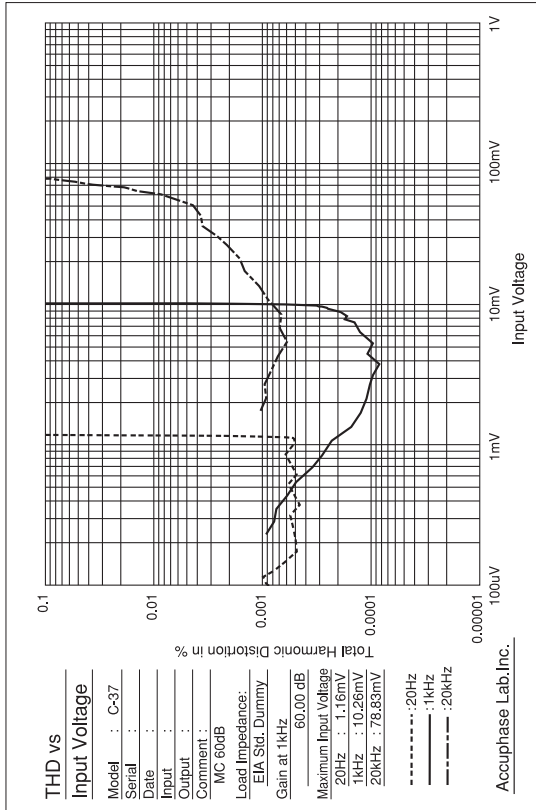
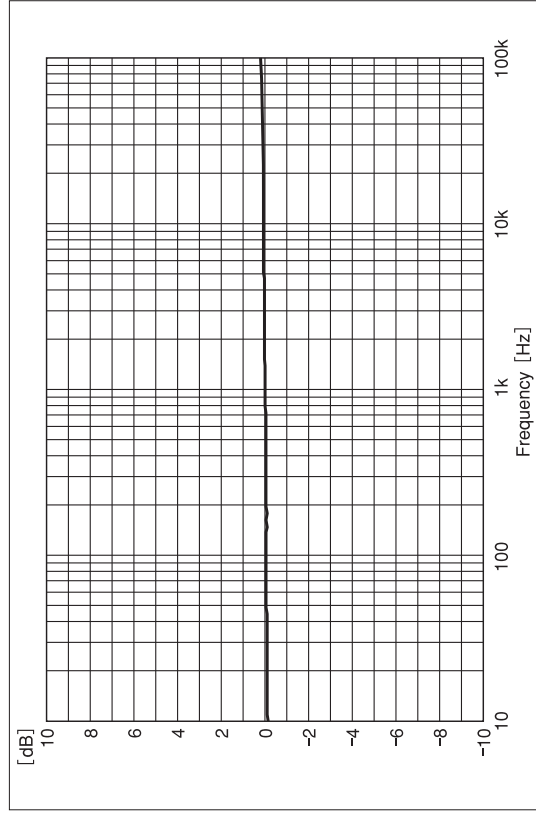
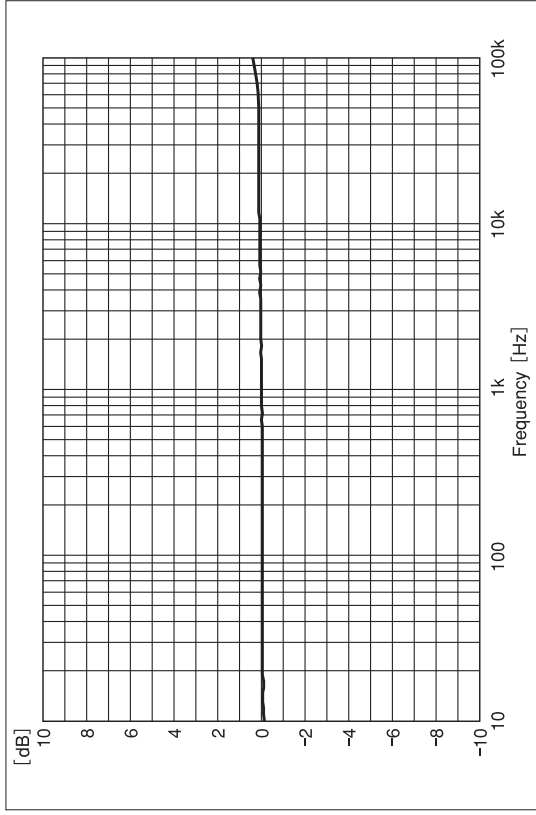
JIS C-61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値(1相あたりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

\*本機の仕様・特性および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

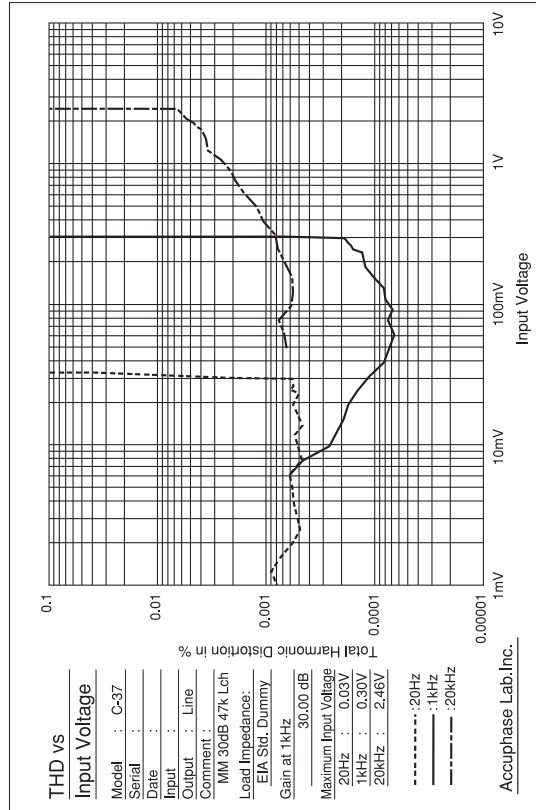
接  
続  
図

保  
証  
特  
性

# 7. 特性グラフ



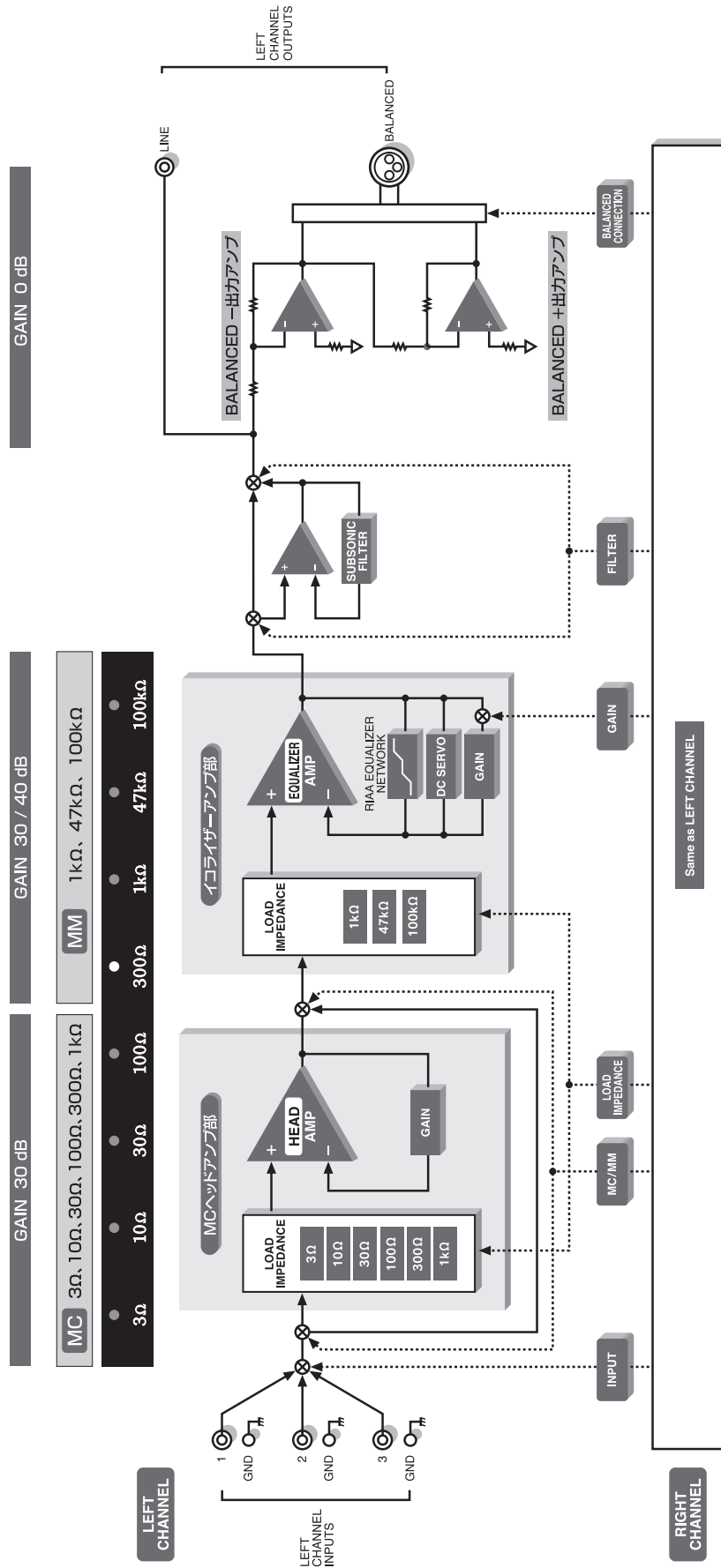
入力電圧／全高調波ひずみ率特性：MCヘッドアンプ



入力電圧／全高調波ひずみ率特性：イコライザーアンプ



# 8. ブロック・ダイアグラム



特性グラフ  
ブロック・ダイアグラム

## 9. 故障かな?と思われるときは

故障かな?と思われるときは、修理を依頼される前に、下記の項目をチェックしてください。  
これらの処置をしても直らない場合には、当社品質保証部または当社製品取扱店にご連絡ください。

**!** **注意** : 接続するときは、必ず各機器の電源を切る。

### 電源が入らない

- 電源コードが抜けていませんか。

### 音がでない

- レコード・プレーヤー、プリアンプなどの接続機器の電源は入っていますか。
- 接続コードは正しく接続されていますか。
- 本機やプリアンプなどの入力切替スイッチの 置を確認してください。
- カートリッジとヘッドシェルは正しく接続されていますか。

### 片側のスピーカーから音が出ない

- 接続コード、スピーカーコードは正しく接続されていますか。
- プリアンプなどのスイッチ類は正しい位置ですか。  
(音量バランスの位置など)
- 本機とプリアンプ間の接続コードを左右入れ替えてください。
  - ┌ 同じ側から音がでない …… プリアンプ側に原因が考えられます。
  - └ 左右逆の状態になる …… 本機やアナログ・プレーヤーに原因が考えられます。
- 次に本機への入力接続コードを左右入れ替えてください。
  - ┌ 同じ側から音がでない …… 本機に原因が考えられます。
  - └ 左右逆の状態になる …… 入力コードやアナログ・プレーヤー側に原因が考えられます。

### ハム音が出る

- レコード・プレーヤーからのアース線は正しく接続されていますか。
- パワー・アンプなど他の機器と近接して設置している場合は、ハム音が出ないように離して設置してください。
- アナログ・プレーヤーの出力ケーブルとアース線は、束ねるようにして接続し、電源コードから離してください。

# 10. アフターサービスについて

## 保証書について

- 保証書は本体付属の『お客様カード(保証書発行はがき)』の登録でお送りいたしますので、「お客様カード」を**当社品質保証部に必ずご返送ください。**
- 『お客様カード』の『お客様情報欄』には付属の『目隠しシール』を貼ってご返送ください。
- 保証書の記載内容により、**本機の保証期間はご購入日から5年間です。**
- 『品質保証書』の無い場合は、**全て有償修理となります**ので、『お客様カード』は必ずご返送ください。
- 『お客様カード』をご返送いただく時、ご購入日等を記入して頂きますが、下記の場合には『品質保証書』の発行ができないことがあります。
  - \*ご記入頂いた購入日と弊社からの製品出荷日とが大きく異なる場合。
  - \*『お客様カード』が返送されないまま、転売(インターネット等)された場合。
  - \*長期間『お客様カード』の返送がない場合。
- オプション類には『お客様カード』を付属していませんが、製品出荷日をご購入日として弊社が登録し、『5年間保証』とさせていただきます。

## 保証期間が過ぎてしまったら

- 修理によって性能を維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。
- 補修部品の保有期間は経済産業省指導により、製造終了後8年間となっています。使用期間が相当経過している場合には、当社品質保証部にお問い合わせください。



## 注意

保証期間以降、長期に渡って安全にご使用いただくために、当社での定期的な点検を行ってください。内容については当社品質保証部にご相談ください。

## その他

- 本機は絶対に分解や改造をしないでください。修理ができない場合があります。
- 本機の故障に起因する付随的損害(営利的使用に関する諸費用、使用により得られる利益の損失等)については補償できません。
- AC100V以外(海外)では使用できません。
- 保証は日本国内のみ適用されます。  
The Accuphase warranty is valid only in Japan.

## お問い合わせは

- ご質問、ご相談、当社製品取扱店のご案内などは、下記の当社品質保証部へお願いします。

アキュフェーズ株式会社 品質保証部  
〒225-8508 横浜市青葉区新石川12-14-10  
TEL 045(901)2771(代表)  
FAX 045(901)8995

- 修理のご相談は、お買い求めの当社製品取扱店へお願いします。
- 当社のホームページ上でも修理のお問い合わせが可能です。  
<http://www.accuphase.co.jp/>

## 修理を依頼する場合には

- “故障かな?と思われるときは”をご確認後、直らない場合には、電源プラグをコンセントから抜き、当社製品取扱店に修理を依頼してください。

次の内容をお知らせください。(保証書参照)

- モデル名、シリアル番号
- ご購入日、ご購入店
- ご住所、氏名、電話番号
- 故障状況：できるだけ詳しく

\* 梱包材は、輸送時に必要となりますので、可能であれば保管しておいてください。

*enrich life through technology*



ACCUPHASE LABORATORY, INC.  
アキュフェーズ株式会社  
〒225-8508 横浜市青葉区新石川2-14-10  
TEL.045-901-2771(代) FAX.045-901-8959  
<http://www.accuphase.co.jp/>